

ピースあいち見学と文化のみち散策 レポート (森)

憲法9条を守る一宮市民の会尾西では、6.29(木)に名古屋市名東区にある戦争と平和の資料館「ピースあいち」を見学した。

資料館内部には、「愛知県下の空襲」「戦争の全体像 15年戦争」「戦時下の暮らし」「現代の戦争と平和」の4つのテーマで常設展が展示されている。また、企画展は、「沖縄から平和を考える」ーウチナーとヤマトの架け橋にと題して5.16~7.8まで行われている。そこには「南西諸島軍事要塞化の実態」が沖縄ドローンプロジェクト、琉球・沖縄センターの写真提供により展示されていた。下記参照



我々はまず、録画映像によって「名古屋空襲について学ぶ」を視聴した。

運営委員の金子力さんによって解説していただいた。

米国立公文書館所蔵の12.13爆撃中のB29が撮影した三菱重工業名古屋発動機製作所があった矢田川沿いの映像、8.6広島に原爆が投下された「リトルボーイ」、8.9長崎に投下された「ファットマン」8.14春日井・豊田に投下された「パンプキン」などの画像が紹介された。米軍による名古屋空襲は63回にも及ぶことなどが解説された。

その後は2Fの常設展示や3Fの展示室で、南西諸島の自衛隊配置について現状を確認した。沖縄は、日米安保条約(日米同盟)によって日本国憲法第9条が実質的に形骸化されていると同時に、タモリの「新たな戦前」や「戦争の足音が近づいている」最先端の現場なのだということがよく分かります。今回のピースあいち見学によって、私たちは、戦争の実態を再認識することで、反戦と平和への想いをより強固なものにできたのではないかと思います。

